



竹虎文宇麻白経緯藍絵拵着 越後

海のシルクロード 絣の道

2025 年 6 月 28 日[土]－9 月 21 日[日]

開館時間： 午前 9 時 30 分－午後 5 時

休館日： 月曜日（7月21日、8月11日、9月15日は開館）

主催： 豊田市民芸館

共催： 中日新聞社

会場： 第1・第2民芸館

観覧料： 一般800円 高校生・大学生600円

中学生以下無料（要証明）

※その他、観覧料の減免、割引等については当館ウェブサイトをご確認ください。

展示概要

布の織り上がりを思い浮かべ、糸の段階で染め分けてから織り成していく絣(かすり)。模様がかすれた風合いに仕上がることがその名の由来です。絣の種類には大きく分けて3種あり、経糸(たていと)のみに先染めされた糸を用いれば経絣、緯糸(よこいと)のみであれば緯絣、両方に用いれば経緯絣と分類されます。その中でも、経緯両方の絣糸を調整しながら織らなければならない経緯絣は、現在では、インドとインドネシアの一部、そして日本でのみ制作されています。

現存する最古の絣布としては、法隆寺の名物裂(ぎれ)「太子間道(たいしかんどう)」が挙げられます。7世紀、聖徳太子の頃に中国から舶来した間道織のことですが、その織られた場所はインドともタイともいわれ、いまだ明らかになっていません。しかし、インドのアジャンタ石窟壁画には、経絣の衣裳を身に着けた華やかな女性たちが描かれており、その起源を物語っています。

絣はインドを源流とし、シルクロードを経てヨーロッパや中国にまで及びました。先述の「太子間道」もこうして日本に伝わったものですが、その貴重な裂は多くの人の目に触れることはなく、技法も伝わりませんでした。しかし、インドからインドネシア、フィリピンなどへ伝播した絣は、14世紀末から15世紀にかけての東南アジアとの交易を通して琉球(沖縄)へ伝わり、固有の繊維素材や染色と結びつき開花していきました。その後、17世紀に薩摩を経由して日本各地へ伝わると、当時盛んに栽培された棉と藍によって、木綿と藍染めで構成された絣へと発展していきました。このように、東南アジアを通じて日本へ普及した道は航路によるもので、陸の伝播ルートであるシルクロードに対し、まさに「海のシルクロード」といえるでしょう。

本展では、第1章として色あざやかで軽やかな絹のパトラサリー、アニミズムに結びついたスンバ島の祭壇布など、世界の絣を第1民芸館で、第2章として琉球王朝時代に織られた色柄が美しい沖縄の手縞や、ジャパンプルーと形容される藍染めによる絣布など、日本の絣を第2民芸館で展観します。それぞれの地域の風土に育まれた豊かな絣を、その伝播ルート「絣の道」とともに楽しみください。

また、第3民芸館では、藤本巧写真紀行「絣の道 インド、インドネシア、そして沖縄」を開催します。藤本巧氏〔1949-〕は、2020年に土門拳賞を受賞した写真家で、約40年前に、絣織りに従事した村々の様子を訪ね歩いて記録しました。経済発展を遂げ、多くの手仕事が見えなくなつたなか、氏の写真作品はとても貴重な記録です。ぜひ、この機会にご高覧いただければ幸いです。

- 展示点数** 約120点
- 展示構成** 第1章：世界の絣（第1民芸館）
第2章：日本の絣（第2民芸館）
- 同時開催** 藤本巧写真紀行「絣の道 インド、インドネシア、そして沖縄」（第3民芸館）
- 関連企画** 記念講演会
写真紀行「絣の道 インド、インドネシア、そして沖縄」
日時：7月19日[土]
午後2時～3時30分
講師：藤本巧氏（写真家）
会場：第3民芸館
聴講：無料（ただし会期中の観覧券提示必要）
定員：先着50名程度
（事前申込み不要、午後1時から会場にて整理券配布）
- ギャラリートーク（学芸員による展示解説）
日時：7月26日[土]、8月23日[土]
いずれも午後2時～（1時間程度）第1民芸館集合
会場：第1・第2民芸館
聴講：無料（ただし、当日の観覧券提示必要）

-
- お問合せ** 豊田市民芸館
〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩 86-100
ウェブサイト：<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>
e-mail：mingei@city.toyota.aichi.jp
Tel：0565-45-4158 Fax：0565-47-4007
・展覧会に関すること 学芸担当：岩間（いわま）
・掲載、広報画像のご依頼 庶務担当：佐敷（さしき）

「海のシルクロード 絣の道」広報用画像について

画像等の資料をご希望の方は以下を記入のうえ、Faxまたはe-mailでお送りください。

Fax:0565-47-4007

e-mail:mingei@city.toyota.aichi.jp

お名前	様	ご所属
Tel		Fax
e-mail		必要な画像等の番号
掲載紙／メディア名		発売、放送予定日（雑誌の場合は〇月号）
必要な鑑賞券枚数（最大5組10名分）＊	枚	鑑賞券の送付先＊ 〒

* 読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



1



2



3



4



5



6



7

1. 竹虎文苧麻白経緯藍絵絣祝着 越後
2. 花文絹経緯絣パトラサリー インド・グジャラート州
3. 馬上人像海老雄鶏文木綿経緯祭壇布 スンバ島
4. 幾何文経緯木綿経緯チャパン（衣服） トルキスタン＜アフガニスタン＞
5. 幾何文苧麻白経緯紅絣振袖 越後
6. 絹色格子緯絣＜手縞＞ 沖縄・首里
7. 藍染城絣蒲団地 久留米

画像の使用には以下の点にご注意ください。

- ・作品写真の文字のせはご遠慮いただき、キャプションを表記してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、情報公開後の報告をお願いします。
- ・本展の紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。

豊田市民芸館使用欄

画像提供の依頼日

年 月 日

☐画像送付

☐校正

☐修正

☐配信・配本